

大洗町第6次総合計画に基づく令和5年度事業評価 政策別評価一覧

政策3
観光を中心とした共創による儲かる地場産業のまちづくり

(R6.7月末時点)

施策No.	施策名	個別施策	重点	具体的な取組み	評価	担当課	(参考) R4d	(参考) R3d
3-1	観光の振興	3-1-1	○	海の多様の利活用の推進	B	商工観光課、まちづくり推進課	B	B
		3-1-2	○	産学官民連携による共創の観光地づくりの推進	B	商工観光課、まちづくり推進課	B	B
		3-1-3	○	地域資源を生かした「食」開発の推進	B	商工観光課	B	B
		3-1-4		SNSの特性を活かした情報発信	B	秘書広報課、商工観光課	B	B
3-2	観光を中心としたまちづくりの推進	3-2-1	○	まちづくりの骨格となる交通ネットワークの充実	B	都市建設課	B	B
		3-2-2		活力と魅力溢れる水辺空間の整備と利活用の推進	B	都市建設課	B	B
		3-2-3		魅力あるみなとまちづくりの推進	B	まちづくり推進課	B	B
		3-2-4	○	公共交通の充実	B	まちづくり推進課	C	B
3-3	水産業の振興	3-3-1	○	資源管理型漁業及び栽培漁業の促進	A	農林水産課	B	B
		3-3-2	○	水産物の販売促進・販路拡大	B	農林水産課	B	B
		3-3-3		経営基盤の強化及び団体の育成	A	農林水産課	B	B
3-4	農業の振興	3-4-1	○	農業生産基盤の充実	B	農林水産課	B	B
		3-4-2		担い手の育成	B	農林水産課	B	B
		3-4-3	○	地域資源の活用	B	農林水産課	C	C
3-5	商工業の振興	3-5-1	○	商店街の特性を活かした賑わい整備	B	商工観光課	B	C
		3-5-2		創業支援と人材育成の推進	B	商工観光課	B	B

第6次大洗町総合計画 令和5年度事業評価シート

施策番号	施策名
3-1	観光の振興

担当課
商工観光課、まちづくり推進課、秘書広報課

	施策	目標及び指標	基準値 (令和2年)	推移(年度末)		現状値(令和5年度)		目標値 (令和6年)
				令和3年	令和4年	目標値	実績値	
KGI	-	観光入込客数	430 万人	278 万人	401 万人	445 万人	428 万人	450 万人
KGI	-	観光消費額 (宿泊)	25,000 円/人 (令和元年度)	—	30,467 円	—	—	27,500 円/人
KPI	3-1-1	海を活用した新たなイベントの開催	新規設定	—	2 件	3 件	3 件	3 件
KPI	3-1-1	釣り場環境の整備	未整備	0	0	1	0	1 か所
KPI	3-1-2	道の駅おおあらい (仮)の整備	未整備	未整備	未整備	未整備	未整備	1 か所
KPI	3-1-2	サイクルサポートステーションの拡充	2 施設	6 施設	8 施設	8 施設	11 施設	8 施設
KPI	3-1-3	地域資源を活用した新たなグルメ開発	新規設定	4 品	4 品	4 品	4 品	4 品

施策の内容ごとの取組と方向性及び自己評価(※A~D)			評価
3-1-1	海の多角的利活用の推進	商工観光課、まちづくり推進課	B
取組内容や今後の方針	<p>(一社)大洗観光協会主催によるナイトタイムコンテンツ「NIGHT WAVE」の開催や民間団体によるイベント「サンドフラッツ」の継続実施など、海の多様な利活用を進めている。</p> <p>◇海を活用した新たなイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大洗海上花火大会における音楽フェス・サウナイベント(R5.9.30) ・(一社)大洗観光協会主催 NIGHT WAVE(R5.10.20-21) ・民間団体主催 サンドフラッツ(R6.3.23-24) <p>また、釣り場環境の整備に向け、大洗港区において日本釣振興会による釣り場の可能性調査が行われ、安全性・水深・釣果等の基礎データが収集された。今後、県や町漁協組合など港湾関係者と協議し、引き続き釣り場開放に向けた調整を進める。今後も大洗インターナショナルビルフィッシュトーナメントの開催を中心にマリンスポーツや釣りなど更なる港湾地区の多角的利活用の推進を図る。</p>		
3-1-2	産学官民連携による共創の観光地づくり	商工観光課	B
取組内容や今後の方針	<p>大洗海上花火大会における音楽ライブとサウナコンテンツの実施により、官民連携による複合型イベントを展開。</p> <p>◇官民連携による観光コンテンツの造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間連携による大洗海上花火大会での音楽フェス・サウナイベントの実施 ・(一社)大洗観光協会との連携 うみまち照らす(神社・古墳・寺) <p>サイクルサポートステーションの登録目標は達成しているが、更なる充実を目指し、引き続きサイクリストに優しい観光地づくりに取り組んでいく。</p> <p>◇サイクルサポートステーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録数 11 施設 ・水戸商工会議所との連携によるサイクリングイベント「水戸八景グルメライド」 		

(次のページへ続く)

施策の内容ごとの取組と方向性及び自己評価(※A～D)		評価
3-1-3	地域資源を活かした「食」開発の推進 商工観光課	B
取組内容や今後の方針	<p>ひたちなか大洗リゾート構想で開発した干し芋シェイクのPRの促進や県事業「シン・いばらきメシ総選挙 2024」において、町を代表する「新たな食」として「あんこうと地野菜の食べるスープ」を食の専門家とともに考案した。</p> <p>今年度10月に開催されるシン・いばらきメシ総選挙 2024 に向けての準備を進めている。</p> <p>◇ひたちなか大洗リゾート構想による開発グルメのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4品のうち「干し芋シェイク」に特化したキャンペーンを実施 <p>◇シン・いばらきメシ総選挙 2024 に向けたグルメ開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町を代表する食材「あんこう」を使用し、若年層にも食べやすく、見た目にもおしゃれな地野菜たっぷりの食べるスープを開発。 	
3-1-4	SNSの特性を活かした情報発信 商工観光課、秘書広報課	B
取組内容や今後の方針	<p>町公式 LINE や Twitter を活用して、イベント・行事情報、広報紙発行について発信しており、詳細な情報については、町ホームページへ誘導している。</p> <p>地域外への情報発信は、アライッペ公式 X や観光協会、うみまちテラスと連携して各々の SNS にて発信している。</p> <p>地域内については、町公式 LINE を有効活用し、イベント等の情報発信に努めていく。</p> <p>◇地域外への観光情報、イベント情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> (一社)大洗観光協会 …… X、Instagram、Facebook <p>◇地域内への情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 大洗町 …… LINE、アライッペ X 	

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
KG I	委員:観光消費額については、近年の物価高の影響により、目標値と実績値に乖離が生じていると思うが、今後のためにデータの蓄積は必要なので、引き続き調査は進めていただきたい。
3-1-1	<p>委員:「大洗サンビーチを利用してイベントを実施していいですよ」といった発信をしていく予定はあるか。</p> <p>担当:大洗サンビーチの土地の管理者が県(所有者は国)という課題があり、大々的な発信は難しいが、基本的に、イベントは町の振興にも繋がることから、民間企業から相談があれば、県へ働きかけを行うなど、積極的に支援していきたい。</p> <p>委員:海の活用については、新たなイベントを積極的に開催するなど、取り組みを評価している。今後も、民間資本を取り入れて、収益に繋がるものを実施してほしい。失敗を恐れずに進めてほしい。</p> <p>担当:今後も、民間主体のイベントや民間活力を最大限活かしたイベントの開催にチャレンジしていきたい。その際には、町民への説明や必要に応じたサポートにも取り組んでいく。</p> <p>委員:釣り場環境整備の状況は。</p> <p>担当:県や町が主体となって(事業費を支出して)環境整備や管理運営することは考えていない。現在、協議を進めている日本釣振興協会が主体となって事業展開できるのであれば、県も町も協力するというスタンスで協議を進めている。</p>
3-1-2	委員:共創の観光地づくりに向け、様々な取り組みをしていることは承知しているが、まだまだ更なる高みを目指して、前向きな意味でB評価としてはどうか。

第6次大洗町総合計画 令和5年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-2	観光を中心としたまちづくりの推進	都市建設課、まちづくり推進課

	施策No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	推移(年度末)		現状値(令和5年度)		目標値 (令和6年)
				令和3年	令和4年	目標値	実績値	
KGI	-	地域ブランド調査の魅力度ランキングにおける魅力度の点数	7.6 Pt (令和元年)	11.2Pt	11.7Pt	8.6Pt	12.5Pt	8.6 Pt
KPI	3-2-1	都市計画道路の整備延長	19.3km	19.4 km	19.9km	20.0 km	20.0 km	20.2 km
KPI	3-2-4	大洗鹿島線大洗駅利用者数(年間)	784,750 人	589,082	678,132	784,750	748,917	784,750 人

施策の内容ごとの取組と方向性及び自己評価(※A~D)			評価
3-2-1	まちづくりの骨格となる交通ネットワークの充実	都市建設課	B
取組内容や今後の方針	まちづくりの骨格となる都市計画道路関根祝町線及び吉沼磯浜線について、早期開通を目指し、計画的に整備を進めている。 また、ひたちなか大洗リゾート構想推進協議会において、ひたちなか市～大洗町にかけて交通渋滞に関する調査を行った。今後、この調査結果に基づき、実証実験を行い、効果的な渋滞対策を図っていく。		
3-2-2	活力と魅力溢れる水辺空間の整備と利活用の推進	都市建設課	B
取組内容や今後の方針	貴重な水資源を活かした親水性の高い水辺空間の創出に向け、水辺プラザの整備に関して、河川管理者である国との意見交換等を行った。 今後は、国と連携しアクティビティやバリアフリーに対応した「誰もが利用しやすい空間」の整備に向け取り組む。		
3-2-3	魅力あるみなとまちづくりの推進	まちづくり推進課	B
取組内容や今後の方針	令和5年度において、大洗マリーナが民間企業((株)ユニマツプレシャス)に売却され民間運用がスタートした。引き続き、ひたちなか大洗リゾート構想の推進に向け、当該企業や県と連携し、民間活力による港湾地区の賑わい創出を図る。 また、大洗港区においては、令和5年度に国内クルーズ船4隻、外国クルーズ船1隻が寄港し、「レガッタ」が初寄港した際には、町内児童生徒によるおもてなし等を行った。海の月間においてはフェリーの船内見学やとれたて市の同日開催、アクアワールド大洗水族館の出展など、町内外の方々に海の豊かさやフェリーの魅力、海で働く人とのつながりを周知する機会を図った。今後も、国内外のクルーズ船の誘致を図るとともに、商船三井さんふらわあ等とも連携して、魅力あるみなとまちづくりの推進を図る。		
3-2-4	公共交通の充実	まちづくり推進課	B
取組内容や今後の方針	令和5年度は、町の公共交通に関する基本的な方針と目標、目標達成に向けた施策を示す計画として「大洗町地域公共交通計画」を策定した。 また、茨城交通株式会社が運行する県央地域の路線バスに対し、利用者の利便性向上のための取り組みとして、域内市町村と連携し、新たなキャッシュレス決済システムの導入を支援した。 今後は、町が令和6年度に開始した500円タクシーの実証実験の結果をふまえ、循環バス等の町内の公共交通網の再編の検討を進めていく。		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-2-2	<p>委員:国とはどんな意見交換をしているのか。</p> <p>担当:水辺プラザは整備から10年が経過し、老朽化している。法面が削られ、公園の内部まで遊歩道が下がってしまっているため、それをどう修繕していくのかや、船の転覆・座礁事故が多いため、事故発生時の出動態勢などについて意見交換をしている。マリレジャーの利用についても提案している。バリアフリー化も進めたいが、町の財政に余裕がないため国に相談している。</p>
3-2-4	<p>委員:R6年度事業である500円タクシーの対象は。</p> <p>担当:交通手段がないなどの町民向けのドアtoドアの事業である。4月から実証実験を始め、75歳以上の方や身体障がい者手帳の交付を受けている方、未就学児などを対象としている。</p> <p>委員:普段大洗駅を利用しているが、駅からの交通手段、バスの乗り方などがわかりづらいと感じた。交通案内図を設置するなど、全体的にわかりやすくしたほうが良い。</p> <p>担当:循環バスのルートマップの準備はしているが、駅を降りて一見してわかりにくい点は課題として把握している。</p>

第6次大洗町総合計画 令和5年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-3	水産業の振興	農林水産課

	施策	目標及び指標	基準値 (令和2年)	推移(年度末)		現状値(令和5年度)		目標値 (令和6年)
				令和3年	令和4年	目標値	実績値	
KGI	-	大洗町地方卸売市場水揚数量	1,481t	1,301 t	1,222 t	1,481t	1,491 t	1,481t
KGI	-	大洗町地方卸売市場水揚高	509 百万円	648 百万円	790 百万円	509 百万円	1,265 百万円	509 百万円
KPI	3-3-1	アワビの種苗放流数(年間)	25,000 個/年	25,000 個/年	33,400 個/年	30,000 個/年	28,100 個/年	30,000 個/年
KPI	3-3-1	ハマグリ稚貝の移植放流数	3 t /年	4 t /年	4.6 t /年	5 t /年	6.2 t /年	5 t /年
KPI	3-3-2	販売促進・販路拡大協議会の開催	新規設定	2 回/年	7 回/年	2 回/年	4 回/年	2 回/年
KPI	3-3-2	水産業界主体イベントの支援	新規設定	5 回/年	12 回/年	12 回/年	13 回/年	12 回/年

施策の内容ごとの取組と方向性及び自己評価(※A~D)			評価
3-3-1	資源管理型漁業及び栽培漁業の促進	農林水産課	A
取組内容や今後の方針	資源管理型漁業及び栽培漁業の取り組みとして、ハマグリ稚貝 6.2tを採捕し、移植放流を大洗町漁業協同組合が実施した。また、茨城県栽培漁業協会から同組合がアワビの種苗 28,100 個を購入し種苗放流を実施した。なお、令和5年度の水揚高は、ハマグリは約 201 百万円(R4 約 140 百万円)、アワビが約 22 百万円(R4約 25 百万円)だった。引き続き、関係機関と連携し、種苗・移植放流数の増加や漁場環境の保全に努め水産資源の維持・増大を図る。		
3-3-2	水産物の販売促進・販路拡大	農林水産課	B
取組内容や今後の方針	茨城県産シラス・イセエビのブランド化及び認知度向上に向け、県や漁業者・水産事業者と協議し、県のブランド基準を満たした鮮度管理を施した商品の開発に取り組んでいるとともにイベント等において水産物の販売を実施した。引き続き、販売促進・販路拡大に向け関係機関と連携し取り組んで行く。 また、魚食普及の取組として大洗町漁業協同組合が町内の小中学校へハマグリを学校給食食材として提供した。		
3-3-3	経営基盤の強化及び団体の育成	農林水産課	A
取組内容や今後の方針	漁業者・水産関係事業者に対し、経営基盤の強化を図るための経営支援や制度資金に対する利子補給を実施した。加えて、令和4年度に引き続き地方創生臨時交付金を活用し、エネルギー価格高騰の影響を受けた漁業者・水産関係事業者に対して燃料費及び電気料の一部を支援した。 第2期浜の活力再生プランに基づいて実施した「漁船保全修理施設整備事業」(事業主体:大洗町漁業協同組合)を支援し、令和6年3月に完了した。また、水産業の持続的な成長産業化を図るため、地域が抱える課題を把握し水産業の活力再生を目的とした行動計画(計画期間5カ年)である第3期浜の活力再生プラン策定に着手し、令和6年度中に水産庁の承認を目指す。		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-3-1	<p>委員:水産業全般については、当初計画どおり順調に進んでいる。一方、近年の課題は、海水温の上昇における自然環境の変化だと思いがいがかか。</p> <p>担当:近年は、海水温の上昇でとれる魚も変わってきている。今後は、漁業者と連携のもと、自然環境の変化に対応した取り組みを進めてまいりたい。</p>
3-3-2	<p>委員:水産業界主体イベントとは。</p> <p>担当:毎月、漁業協同組合が主体となり、魚市場に併設してある活魚施設において「大洗地魚とれたて市」を実施し、大変な賑わいである。</p> <p>委員:「大洗地魚とれたて市」は、漁業者だけではなく、観光事業者へも寄与するイベントで、まさしく“共創の観光地づくり”に繋がっている。今後も、頑張って事業を継続していただきたい。</p> <p>委員:すでに目標を達成しているが、自己評価をBとした理由は。</p> <p>担当:現在、特別な鮮度管理や加工をしたシラスを県産シラス品評会に出品している。高い評価を得ることができれば、高級デパートで販売することができ、本年度についても出品する予定になっていることから、現時点ではB評価とした。</p>

第6次大洗町総合計画 令和5年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-4	農業の振興	農林水産課

	施策	目標及び指標	基準値 (令和2年)	推移(年度末)		現状値(令和5年度)		目標値 (令和6年)
				令和3年	令和4年	目標値	実績値	
KGI	-	農業産出額	195 千万円	187 千万円	192 千万円	195 千万円	203 千万円	195 千万円
KGI	-	担い手への農地利用集積面積	269ha	255ha	263ha	272ha	284ha	285ha
KPI	3-4-1	基盤整備工事实施地区	大貫地区	向谷原地区	向谷原地区	向谷原地区	向谷原地区	向谷原地区
KPI	3-4-3	地域間交流人数(松川地区交流施設の年間利用者数)	14,700 人	12,600 人	14,100 人	20,000 人	13,800 人	22,000 人

施策の内容ごとの取組と方向性及び自己評価(※A~D)			評価
3-4-1	農業生産基盤の充実	農林水産課	B
取組内容や今後の方針	<p>向谷原地区については、向谷原地区評価換地及び工事委員会において、県と共に土地改良事業(換地原案作成)に向けて取り組んだ。</p> <p>また、夏海地区については、「夏海地区(畑作農地)土地改良事業推進協議会」を設立し、県及び大洗町農業委員会と共に、基盤整備事業の着手に向けて取り組んだ。</p> <p>引き続き、県及び地権者等と協議し事業を進める。</p>		
3-4-2	担い手の育成	農林水産課	B
取組内容や今後の方針	<p>農業経営・拡大を志向する意欲ある担い手農家(認定農業者)に対して、農業機械購入費などの一部を支援した。また、新規就農の相談があった際には、県や関係機関と連携し、個別就農相談会等の開催を行った。加えて、令和4年度に引き続き地方創生臨時交付金を活用し、エネルギー価格高騰の影響を受けた農業者に対して、燃料費購入費の一部を支援した。</p> <p>引き続き関係機関等と連携し、認定農業者の支援や新規就農者の育成について取り組んでいく。</p>		
3-4-3	地域資源の活用	農林水産課	B
取組内容や今後の方針	<p>松川交流拠点施設「夕日の郷松川」のキャンプ場・BBQ 利用収入は、令和5年8月に利用料金の改定(値上げ)をしたことにより127%の増となった。また、地産地消の取り組みについては、ブランド認証品でもある「大洗日の出米」や夏海地区の甘藷を学校給食に使用する取り組みを引き続き行った。加えて、町土地改良区と連携し、水源のかん養等を有する農地や農道等の施設の維持及び保全に取り組んだ。</p>		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-4-1	<p>委員:第6次総合計画策定時に、ある委員から、今後の農業の持続可能性を追求するためには、田んぼだけではなく、夏海の畑についても基盤整備が必要といった意見があった、協議会が設立したことで、その一步を歩みだしたという理解でよいか。</p> <p>担当:そのとおり。引き続き、県や地権者と協議しながら事業を進めていく。</p>

第6次大洗町総合計画 令和5年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-5	商工業の振興	商工観光課

	施策	目標及び指標	基準値 (令和2年)	推移(年度末)		現状値(令和5年度)		目標値 (令和6年)
				令和3年	令和4年	目標値	実績値	
KGI	-	町内事業者数	587 事業者	586	585	587	576	587 事業者
KPI	3-5-1	商店街活性化会議の開催	新規設定	0 回	1 回	2 回	2 回	2 回/年
KPI	3-5-1	地域通貨の電子化	新規設定	未実施	未実施	未実施	未実施	実施

施策の内容ごとの取組と方向性及び自己評価(※A~D)			評価
3-5-1	商店街の特性を活かした賑わい整備	商工観光課	B
取組内容や 今後の方針	<p>商店街活性化会議を開催(R5.12)し、プレミアム付き商品券事業等の電子化、町単施策を紹介、今後も地域通貨のデジタル化をはじめとした購買システムの近代化を推進していく。</p> <p>◇商店街活性化会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム付き商品券事業等の電子化を協議 ・地域通貨など購買システムの近代化を協議 <p>◇がんばる商店街支援事業(R5 年度 3商店会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店会における自主イベント等への支援 補助率 2/3 限度額 20 万円 		
3-5-2	創業支援と人材育成の推進	商工観光課	B
取組内容や 今後の方針	<p>創業支援については、空き店舗活用における補助事業を中止し、創業者の持続的な経営に資する支援を行う制度設計を行い、令和 6 年度での予算化を図った。今後とも、町商工会と連携を図りながら、人材育成につながるセミナー等の開催を通じて、スキルアップを推進していく。</p> <p>◇新たな創業支援策の立案</p> <p>創業間もない方の廃業が見受けられ、現状の空き店舗活用起業支援から持続的な経営に資する支援策を立案。</p> <p>令和 6 年度 創業ビギナープロモーション支援補助金事業として予算化</p> <p>◇商工会による各種セミナーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インボイス制度セミナー ・創業支援セミナー ・事業計画作成セミナー ・DX リスニングセミナー ・ブラックボード POP 実践セミナー 		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-5-1	<p>委員:がんばる商店街支援事業の限度額を拡大してはどうか。</p> <p>担当:同補助金を活用してイベント等に取り組んでいるのは、近年は同じ3商店会のみであり、限度額の拡大が、商店街全体の活性化に繋がるのかどうかポイント。いずれにしても、町としてがんばる商店会をしっかりと支援していく。</p> <p>委員:地域通貨の導入や電子化は面白い取り組みであると思うが、実現可能性はあるのか。</p> <p>担当:コロナ禍以降、キャッシュレス化が進むなど、購買システムの近代化が進んでいる。一方、地域通貨やプレミアム付き商品券の電子化等の導入には、商工業者のみならず、町全体での取り組みとなることから、引き続き、慎重に協議を進めていきたい。</p> <p>委員:インバウンド(訪日外国人)獲得に向けた取り組みは。</p> <p>担当:令和5年度に外国クルーズ客船「レガッタ」が初寄港したが、本町では、まだまだインバウンドへの対応が進んでいないのが課題である。一番のポイントは、事業者の方々が必要性を感じているかであるが、商工会や観光協会とも連携して取り組んでいきたい。</p>